

# 東京教区時報

第1081号  
2008年5月25日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇5月の代祷・信施奉献先  
▽アジア・エキユメニカル週間  
(5・4〜11)▽名古屋学生青年センターのため▽カパテイランの働きのため▽東京教区神学生のため(聖霊降臨後第2主日)

◇堅信受領

5月18日 大森聖アグネス教会  
▽溝井伸彰(聖アグネス)

▽横浜教区主教就任式 同教区主教に選出されていた三鍋裕司祭は5月9日付で「主教被選者」となり、6月20日(金)に行なわれる主教按手式・横浜教区主教就任式に臨まれる。そのため空席となる管区総主事は、来週の総会時(2面に関連記事)に、主教会指名・総会承認

により任命される。

▽立教女学院聖マーガレット礼拝堂《文化財で聴くオルガンレクチャーコンサート》「西の響き東の響き」管楽器としてのオルガン、①西の響き②6月7日(土) 14時。演奏Ⅱブラシア

ンサンブル La Forte、岩崎真実子。2千円。照会Ⅱ03(5370)3038。②Ⅱ今秋開催。▽春のバザー2・聖マルコ教会Ⅱ6月1日(日) 12時〜14時半・葛飾茨十字教会Ⅱ6月8日(日) 11時半〜14時

今週・来週の予定

5月25日〜6月7日

- 25(日) 聖霊降臨後第2主日  
主教巡回  
練馬聖ガブリエル教会  
城南G教会協議会(三光)  
下町G教会協議会(聖ルカ)
- 26(月) 広報委・HP小委員会  
山手G牧師協議会(聖三一)
- 27(火) 銀座朝祷会  
(〜29)日本聖公会第57(定期)総会(聖バルナバ)
- 28(水) 月島聖公会〜特別委員会
- 31(土) フェスティバル連絡会(アンデレホール)
- 6月
- 1(日) 聖霊降臨後第3主日  
主教巡回 聖アンデレ教会
- 2(月) インターネット特別委員会
- 4(水) 教区企画室  
エルサレム教区協働委員会
- 6(金) オウルナムの会  
公開説教(主教座)  
聖職試験委員会
- 7(土) 信徒講座【雨宮神父】(池袋)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

神様の恵みの中で生きるというのはどのように感じ取るものでしょうか? ひとつの出会いの中に心を躍らせるもの、「これほどいいものがわたしに?」と感じさせる瞬間にこの恵みがあると  
言えましょう。

人の人が話しかけたのです。教会の側に以前あった幼稚園と関係があったようでした。そしてこれから話が弾むのです。三番目にきた人(Yさん)としましうが教会の教えと「現実」の間のギャップについて語ると、放浪の方から旧約聖書のオバデヤ、神様に背いたアハズ王に仕えながらエリヤのような預言者をかくまった宮廷長のオバデヤの話を引き出して、信心深さと毎日の現実の軋轢を語ったわけです。これは感心しました。その

先日、外が見える  
教会の事務室での  
ことです。ふと窓か  
ら見ると、教会の前  
で見慣れない姿が  
ひよっこり現れた  
のです。話しに行く

《恵みに生かされて》

ひよっこり訪れる神の恵み

聖職候補生  
ジョン・ストーゼンバック

これは感心しました。その

と、この人は放浪の旅の最中にある男性、以前は埼玉の教会で居候していたが、牧師とちよつとしたいざこざになって、今はこれという当てもなく、東北へと進んできていると言っています。自分の厳しい現在を淡々と語っていました。外で話している間に、もう一

後、放浪の方と私が一緒にYさんが語るキリスト教に関する質問や感想に添えていく、誰も予想することのできないような展開となりました。神様がこの場に居合わせてくださったことには本当に恵みを感じます。

(東北教区協働出向・福音聖ステパノ教公勤務)

## 正義と平和協議会運営

## 委員会報告 (5月16日)

\*「君が代・日の丸」問題サポートグループ(人権委員会共同)の活動報告。

\*今年度第2回協議会開催(7月5日(土)午後、聖バルナバ教会。講演会「強制」から自由であるために「前記「問題」と関連して2信徒から話を聞く会」と、協議会の2部制。諸準備、議案の検討(継続)等。

\*毎月実施中の懇談会は、次回5月28日(水・14時〜16時、教区会館)から「聖マルコ」聖書勉強会も兼ねる。

\*「8・15平和メッセージ」発行企画、「一日研修会」秋期企画等の協議(継続)。

\*その他

## ▽日本聖公会第57(定期)総

会 2年ごとの開催で今週27日(火)〜29日(木)、日本聖公会センター(聖バルナバ教会)で。

東京教区からは植田主教議員、聖職・信徒代議員各2人(河野裕道・山野繁子司祭、山田益男・松田正人)が出席予定。

## ▽信徒講座(旧約聖書と新約聖書)

信仰と生活委員会主催により2回。①「新約聖書にとって旧約聖書はどのような意味があるか」(6月7日(土)14時〜16時)、②「新約聖書における旧約引用」(19日(木)19時〜21時)。講師は雨宮慧神父(カトリック司祭・上智大学神学部教授)。会場はいずれも池袋聖公会。参加費各500円。照会先(教区事務所宣教主事宛)。

## 《今、この教会では…》

## 大森聖アグネス教会

初めての女性司祭に多少のともまどいがありました。司祭の明るさとバイタリテイで案ずることなくこの4月で1年に…。

少子化の波はわが教会にも及び日曜学校は只今休校中です。しかしSS卒業の中高生がアグネスユースと名称を変え、年4回第1日曜に礼拝の一端を担っているのは嬉しいことです。

信徒の大部分はこの礼拝堂に愛着をもっていますが、建物も年を経て大改修か新築かを選択する時がきております。2年後に創立90周年を迎える教会をどのようにしてゆくか、真剣に折り考える時が来ています。

(石橋政子)

## 【学びと働きから】76

## こどもフェスタ

教区日曜学校連絡会・スタッフ会(SSS)は、5月5日のこどもの日に、「こどもフェスタ・イン・月島」と銘打って子どもたちのためのフェスティバルを、月島聖ルカ保育園の園庭を会場に開催した。参加者は子ども大人合わせて延べ約150人。午前中は焼きそば、フランクフルト、わたあめ、アイスクリームなどの食事出店と、輪投げ、釣り堀、アーチェリーなどのゲームコーナーを中心に、午後は綱引き、玉入れ、お煎餅食い競争などのミニ運動会を、それぞれ楽しんだ。

SSS代表の高橋頭司祭は、「天候にも恵まれ、多くの教会・

礼拝堂から大勢の子どもたちや大人・保護者の方々が参加くださった。何よりも、参加された子どもたちみんなが初めて会った友達とも楽しく過ごしたことが嬉しかった。みんな神さまの家族だね、と深く実感できた素晴らしいイベント…。ご協力を本当に感謝…」と語り、怪我や事故もなく終了したことにほっとした様子であった。

SSSは信仰と生活委員会の「子どもミニストリー部会」から派生した自主活動グループ。各現場の教会・日曜学校が抱えている問題を分かち合い、「子どもが溢れる教会を目指して」を目標に、これまで多くの学びの会や「こどもにゆーす」の発行など活動を続けてきた。その

中で今回のこどもフェスタは発当初からの念願の企画で、子どものためのプログラムとして準備を重ね、期待をこめてきた大催事であった。各教会の事情や場所、日程の関係もあり、出店の申込みが少ないなどの課題もあったが、出店できない代りに景品類の献品をしてくれた教会や個人的に手助けしてくれた人も多く、東京教区のもっている底力を感じた。

日曜学校のスタッフをしていると、どんな苦労があっても、子どもたちの笑顔や元気にパワーを貰っていることに気づくはず。今回、園庭に響いた子どもたちの声は、私たちへの最高のプレゼントであった。

SSSスタッフ 渡辺 康弘